

記者配布資料

令和6年4月23日

部 課 名 所 属 名	課 長 名 所 属 長 名	班 長 名	担当者職・氏名	連 絡 先
山口県農林水産部水産振興課	しづたに けんじ 澁谷 賢司	生産振興班 きじま ひさと 木嶋 久登	技師 なかむら とらのすけ 中村 虎之介	083-933-3540 内線(3543)
山口県水産研究センター	たかだ しげひろ 高田 茂弘	海洋資源グループ わたなべ としひろ 渡邊 俊輝	専門研究員 ばば としのり 馬場 俊典	083-984-2116
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

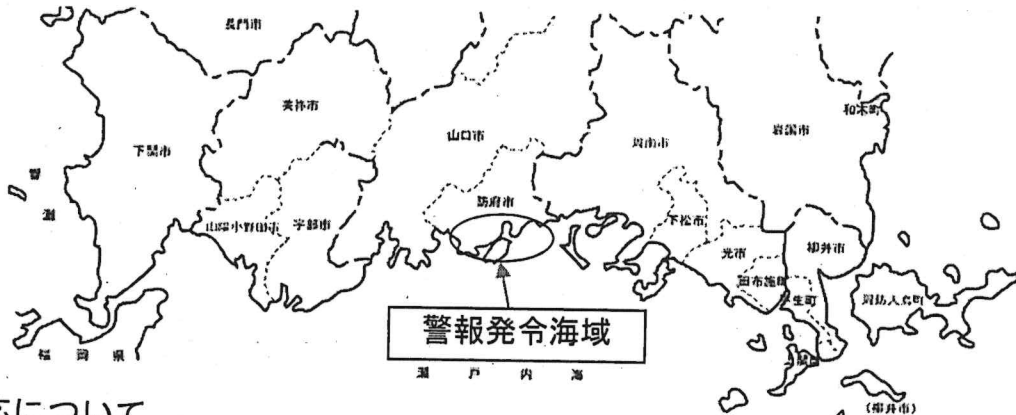
防府市三田尻湾における赤潮警報の発令について(令和6年度赤潮警報第1号)

1 現状

4月23日、防府市三田尻湾において、魚介類に対して有害なプランクトン（ヘテロシグマ アカシオ）が増殖し、赤潮警報密度である50,000個/mlを超える73,000個/mlの発生を確認したことから、同日、防府市及び関係漁協に「赤潮警報」（裏面資料のとおり）を発令し、警戒を呼びかけました。

なお、現時点で漁業被害の情報はありません。

〔赤潮警報発令対象市(漁協)〕 防府市(山口県漁協吉佐統括支店)



2 県の対応について

今後も、モニタリング調査等を通じた情報収集や調査結果の提供などにより、一層の警戒を続けるとともに、関係市及び漁協に対し、次の点について指導を行います。

- ・ 漁港内での蓄養は避け、活けメ出荷等の対策を講じること。
- ・ 養殖魚等については、より深い生け簀の活用、餌止めによる魚の安静状態維持、早期出荷などの対策を講じること。

3 今後の赤潮の見通し

気象条件等によっては、広い範囲で本種がさらに増殖することも考えられることから、今後の発生動向に十分留意する必要があります。

4 参考

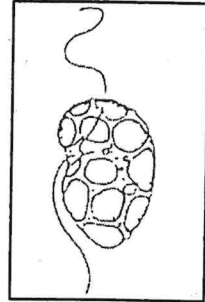
- 本種は、水深の浅い海域では上下動を繰り返し、日中は表層に、夜間は底層に濃密に滞留します。
- 本種は、日中は光合成による過飽和酸素状態に、朝方は増殖・呼吸等による貧酸素状態にさせて、魚類をへい死させる有害プランクトンです。
- 本種赤潮の主な発生時期は、5～7月(梅雨時期)と10月(秋雨時期)です。
- 本年1回目の赤潮警報の発令です。

令和6年度赤潮警報第1号

令和6年(2024年)4月23日
山口県水産振興課

漁業者の皆様へ 防府市三田尻湾でヘテロシグマ アカシオが 発生しています!

発生日	令和6年(2024年)4月23日(火)
発生海域	防府市三田尻湾
赤潮構成種	ヘテロシグマ アカシオ(<i>Heterosigma akashiwo</i>) (好適水温: 20~24°C、好適塩分: 22~29psu)
着色海域の色	茶褐色



大きさ: 8~25 μ m×6~15 μ m

調査結果

観測場所	細胞数	備考
防府市江泊港	73,000 個/ml	4月23日 11:20 17.4°C・水深0m
防府市場前	6,716 個/ml	4月23日 11:46 16.4°C・水深0m

【赤潮注意報: 5,000 個/ml 以上、赤潮警報 (魚類へい死目安): 50,000 個/ml】

特記事項

- 本種は、水深の浅い海域では上下動を繰り返し、日中は表層に、夜間は底層に濃密に滞留します。
- 本種は、日中は光合成による過飽和酸素状態に、朝方は増殖・呼吸等による貧酸素状態にさせて、魚類をへい死させる有害プランクトンです。
- 本種赤潮の主な発生時期は、5~7月(梅雨時期)と10月(秋雨時期)です。

留意事項

- 今後は、漁港内での蓄養は避けて、活け \wedge 出荷等の対策を講じてください。また、養殖魚等は深い生け簀を活用し、赤潮発生時には代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。
- 漁船の活け間内のスカッパを閉めて航行するなど、赤潮を含んだ海水が流入しないよう注意してください。
- なお、県は引き続き調査を実施して参りますので、赤潮の発生・魚介類のへい死などが確認された場合は、漁協を通じて関係市・農林水産事務所水産部に速やかに通報してください。
- また、赤潮による漁獲物のへい死等については、漁業被害救済基金の対象となる場合がありますので、漁獲物の処分等は行わず (被害数量等の確認が必要のため)、速やかに漁協を通じて関係市町・農林水産事務所水産部に通報してください。

※県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。
→ <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/suisan-s/akashio.html>